の特徴、風合いの違いを紹介しています。

櫻井　各社、大変ご苦労され、多種多様な商品・資材を出展されていますね。

　出展の成果についてお聞きします。成果の判断は難しいと思いますが、いかがですか。

小泉　私は平成18年の最初の出展から連続6回目の出展になりますが、自社の具体的な成果は出ておりません。ただし、その他の面でいろいろ成果がでています。例えば、前々回のジャパンクリエーション

小泉博一
（繊維部会長　㈱コイズミ）

吉本　アパレルは中国、インドネシア、ベトナムなどに縫製の拠点が移っており、国内では多品種小ロット化が急激に進んでいます。縫製部門を生かして、資材でなく商品づくりを目指します。また、現在の自社の技術を生かして農業、医療、建設分野への参入も考えています。ジャパンクリエーションについては、メーカーとの直接取引につながることを期待しています。

櫻井　私のいる建築業界も大変厳しい状況ですが、大変な競争の時代ですね。新製品開発で各企業の底上げを図ると同時にジャパンクリエーションなどで発信力を強化し、「繊維のまち　資材の宝庫　かほく市」として産地を守っていって下さい。

　本日はありがとうございました。

かほく市で作られた繊維製品一覧

KAHOKU

で知り合った東京造形大学出身のデザイナーとコラボを組んだことから、自社製品のデザインの強化につながったこと、「資材の宝庫　かほく市」のキャッチコピーやカラフルな「ＫＡＨＯＫＵ」のロゴデザインの作成に協力してもらい、「繊維のまち　かほく市」のＰＲに少しでも役立ったかなと思っています。

二口　私は2回目の出展ですが、やはり出した製品がそのまま販売につながってはいません。しかし、今回特に産業資材関係のお客が大手を含めて多数こられ、多くのつながりができました。アパレル関係以外のお客とつながりを持つのは、地元にいればなかなか難しいのが現状ですが、そういった面でジャパンクリエーションの存在は貴重です。

吉本　私も平成18年の最初の出展から連続6回目の出展になりますが、今回、60枚の名刺交換をしました。縫製もできますよといった話から、中身の濃い商談に発展したと思います。大手アパレルとのつながりが出来たことで直接取引につながればと思っています。学生については、直ぐに商売につながりませんが、将来のお客になれればと考えています。今回は、1～2件取引につながりました。

櫻井　出展の負担はどうですか。

二口　かほく市やかほく市商工会の理解があり、出展の個人負担は少なくなっています。ただ、各企業の説明担当者が東京に3日間常駐する必要があり、その面での負担はあります。

櫻井　今後の進め方についてお伺いします。

小泉　今回特に感じるのは、何かを探している客が多いことです。アパレル業界、産業資材業界とも皆さん様々な理由で現状に行き詰っているようです。デザイン性、機能性の優れた製品を出すことで、アパレル業界、産業資材業界との新たな結びつきが出来る期待がこれから益々高まるのではないでしょうか。その実現のためには、学生、デザイナー、糸のメーカー、金沢美大などとのコラボもいいと思います。多くの繊維産地が縮小、消滅する中で、かほく市の業者は今尚４００社を超えています。若手の後継者も出てきていることから、何とかして産地を守っていきたいですね。

二口　従来の仕事はできるだけ維持しながら、新しい仕事を探していきたいと思っています。ただし、1社では難しいので、県内、県外、海外を含めた同じレベルにある企業とグループを組んでの生き残りをはかっていきたい。ジャパンクリエーションについては、異業種の方との交流の場と考えていますので、継続して出展していきたいですね。

二口　卓
（繊維部会 副部会長 ㈱二口製紐）

吉本勇人
（繊維部会 副部会長　㈱気谷）

櫻井誠二
（広報委員長　桜井材木）

（平成23年度）石川県商工会大会表彰

去る11月2日、石川県地場産業振興センター本館大ホールにおいて県下６００名余りの会員が参加し、盛大に開催されました。

席上、優良従業員表彰をはじめ各種表彰式が行われ、かほく市商工会では、次の皆様が表彰を受けられました。

石川県知事表彰
◎優良職員
前田　悦子（かほく市商工会）
森　智枝美（かほく市商工会）

全国商工会連合会長表彰
◎優良従業員
南　輝昭（ハタ工業㈱）
中島　春代（北国製紐㈱）

石川県商工会連合会長表彰
◎地域貢献企業
麝香重機建設㈱（土木工事業）
竹田宏次製紐（製紐業）
㈱ペットフレンドジャパン（食肉加工業）
◎優良職員
素野優美子（かほく市商工会）
中川　智美（かほく市商工会）
◎優良従業員
大嶋　章（精研工業㈱）
北川　昌洋（㈱宇野気石油）
出島　香織（㈱キンボーニット）
金子　静子（㈱キンボーニット）
（順不同）